（別紙書式）

2026年頭頸部外科月間優秀企画賞　申請書

作成日　2026 年 8 月 5 日

地方部会名	広島県地方部会
代表者名	竹野　幸夫
担当者名	上田　勉
活動のタイトル	未来につなぐ頭頸部がん啓発－教育・相談・検診を一体化した地域活動－
アピールポイント	頭頸部がんの一次予防および早期診断の推進を主眼として、多面的な啓発活動を展開した。特に、中学生を対象としたがん教育講演会は初の試みであり、学校との緊密な連携のもと、HPV関連がんやワクチン予防を含むヘルスリテラシー向上を図った。
表彰の対象となる取り組み等の概要を記述して下さい。図表を添付頂いてもかまいません。	「昨年も参加しました」とおっしゃって、本年度の市民公開講座に足を運んでくださった方がおられた。7月の「頭頸部外科月間」の活動が単年度の催しにとどまらず、市民の記憶に残り、地域に着実な足跡を残していることを実感する一場面であった。 本年度も、**市民公開講座、無料相談会、口腔がん無料検診、患者サロン、地域FMラジオへの出演**など、多面的な啓発活動を継続して実施した。市民と専門医が直接対話できる場では、症状、受診先、検査、治療、予防方法などについて積極的な質問が寄せられ、関心の高さがうかがわれた。 さらに、**本年度は新たに中学3年生を対象としたがん教育講演会**を開催し、がんの基礎知識、生活習慣や感染予防で発症リスクを低減できるがん、**HPV関連がんとHPVワクチンの意義について、科学的根拠に基づき分かりやすく解説した。**学校と事前に資料や配慮事項を共有し、生徒の心理面にも配慮した学習環境を整えることで、若年世代が自分自身と家族の健康を主体的に考える機会を提供した。 市民公開講座では、**専門医による医学的解説、がん経験者による体験談、無料相談、口腔がん検診を一体的に実施**し、参加者の「気づき」を相談、検診、適切な医療機関の受診へと結びつけた。また、毎年実施している参加者アンケートからは、**広島市における頭頸部がんの認知度が年々向上している可能性が示唆されている。**本活動は、若年世代から成人、患者、家族へと啓発の輪を広げ、頭頸部がんの予防、早期発見、早期受診を地域に根づかせる継続的かつ実践的な取り組みとなっている。 参加者 市民公開講座：102名 口腔がん無料検診：26名 無料相談会：11名